

事務事業チェックシート

事務事業No 361 事業名 歯科保健事業(8020推進運動)

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	1	市民の健康づくりへの支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		地域保健費
	大事業		地域保健事業
	事項		8020運動推進事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	平成10年	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長(Tel)	地域保健課	川口 隆弘(488-5119)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か	事業内容				
	生涯を通じた歯の健康づくりを図ることを目標とした8020運動推進事業の一環として、高齢者で歯及び口腔が正常で健康なものを選出・表彰し、地域歯科保健対策及び健康増進に寄与することを目的とする	市内在住の80歳以上で20年以上の自分の歯を有する健康な者を市内の歯科医や老人クラブの代表者等からの推薦や自薦により募集し、実施要領の選考審査基準に基づき選考審査を行う。審査終了後、審査委員により審査会を行い、優秀者(10名以内)を選定する。選出した優秀者に対し、後日、市長および和歌山市歯科医師会会長が表彰する。また、歯と口の衛生週間に歯の健康展を開催している。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		6/8(土)6/9(日)にパームシティオークワ和歌山店にて、無料歯科健診及び相談、歯みがき指導、フッ素塗布、口腔内写真撮影、ポスター・詩・標語の展示を実施	6/7(土)6/8(日)にパームシティオークワ和歌山店にて、無料歯科健診及び相談、歯みがき指導、フッ素塗布、口腔内写真撮影、ポスター・詩・標語の展示を実施	6/6(土)6/7(日)にパームシティオークワ和歌山店にて、無料歯科健診及び相談、歯みがき指導、フッ素塗布、口腔内写真撮影、ポスター・詩・標語の展示を実施	6/4(土)6/5(日)にパームシティオークワ和歌山店にて、無料歯科健診及び相談、歯みがき指導、フッ素塗布、口腔内写真撮影、ポスター・詩・標語の展示を実施	6/3(土)6/4(日)にパームシティオークワ和歌山店にて、無料歯科健診及び相談、歯みがき指導、フッ素塗布、口腔内写真撮影、ポスター・詩・標語の展示を実施

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	65	65	65	65	65		65		65		
	伸び率(%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員		4,085	4,085	3,616	3,616		3,616		3,616	
		非常勤職員		0	0	0	0		0		0	
		小計		4,085	4,085	3,616	3,616		3,616		3,616	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源(税等)	65	65	65	65	65		65		65		
	所要人数	常勤職員		0.54	0.54	0.49	0.49		0.49		0.49	
非常勤職員			0.00	0.00	0.00	0.00		0		0		
主な予算内訳	補助金65千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	応募者数	年度目標値								
		実績値			14	20				
	単位	人	全体目標値							
			全体目標達成度							
	イベント開催日数	年度目標値								
実績値			2	2						
単位	日	全体目標値								
		全体目標達成度								
成果指標	歯と口の健康週間イベント参加者				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年度目標値									
		実績値			3,500	2,000				
	単位	人	全体目標値							
			全体目標達成度							
	受賞者数	年度目標値								
実績値			10	10						
単位	人	全体目標値								
		全体目標達成度								

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	80歳になっても20本以上歯を残すことで、しっかりと咀嚼して美味しく食事をするができるため、全身の健康につながり、認知症予防にもつながる。8020健康長寿社会を目指す啓発運動として意義がある。
「見直し」 「改善」案	歯及び口腔の健康を維持することは、全身の健康づくりの基礎であり、歯の健康の大切さについて、更に啓発していきたい。